

電子情報通信学会総合大会2026 依頼シンポジウムセッション [AI-5]

ELSIの観点からデジタル社会の安全と安心を考える

電子情報通信学会 光輝会特別研究専門委員会



2026年3月12日(木) 9:00 ~ 12:15



九州産業大学 1号館 3階 N302

本セッションでは、生成AIをセキュリティの観点で俯瞰し、科学技術・産業・倫理・法学等のさまざまな研究者/専門家の見解を共有するとともに、セキュリティ技術により様々な世代が安心して利用できる知の道具としてのAIの可能性についての議論を行います。



ELSIの観点からデジタル社会の安全と安心を法律実務の立場から考える

板倉 陽一郎

ひかり総合法律事務所 パートナー弁護士

2002年慶應義塾大学総合政策学部卒，2004年京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻修士課程修了，2007年慶應義塾大学法務研究科（法科大学院）修了。2008年弁護士（ひかり総合法律事務所）。2016年4月よりパートナー弁護士。2010年4月より2012年12月まで消費者庁に出向（消費者制度課個人情報保護推進室（現・個人情報保護委員会事務局）政策企画専門官）。2017年4月より理化学研究所革新知能統合研究センター社会における人工知能研究グループ客員主管研究員。2018年5月より国立情報学研究所客員教授。2020年5月より大阪大学社会技術共創研究センター招へい教授。2021年4月より国立がん研究センター研究所医療AI研究開発分野客員研究員。2023年9月より早稲田大学次世代ロボット研究機構AIロボット研究所客員上級研究員（研究院客員教授）。総務省・持続可能な地方行財政のあり方に関する研究会自治体におけるAIの利用に関するワーキンググループ委員，こども家庭庁・こども・子育て分野における生成AI利用等に係る調査研究における有識者検討委員会委員，総務省・情報通信法学研究会構成員等。法とコンピュータ学会理事，日本メディカルAI学会監事，一般社団法人データ社会推進協議会監事等。



ELSIの観点からのデジタル社会の安全と安心を行政とAIの関係から考える

寺田 麻佑

一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科 教授

一橋大学法学部公共関係法学科卒業。慶應義塾大学大学院法務研究科（法科大学院）および一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了。慶應義塾大学法務博士、博士（法学、一橋大学）。国際基督教大学教養学部准教授、同上級准教授を経て、2022年9月より一橋大学ソーシャル・データサイエンス教育研究センター教授、2023年4月より同ソーシャル・データサイエンス研究科教授。理化学研究所革新知能統合研究センター（AIP）客員研究員。専門は公法学、情報通信法。2022年9月より2023年3月までドイツで在外研究。著書に『EUとドイツの情報通信法制』（勁草書房、2017年）、『先端技術と規制の公法学』（勁草書房、2020年）、共訳書・ウッドロウ・ハーツォグ著『プライバシーの設計図』（勁草書房、2026年）などがある。行政法・情報法の観点から、情報公開や個人情報保護の法制度、AI法に関する立法政策、ドローンに関する法政策やスマートシティ政策を含めたデジタル社会における行政の課題、AI社会の立法課題に関する研究をEUやドイツの法政策との比較の観点からも進めている。



ELSIの観点からのデジタル社会の安全と安心をセキュリティ研究倫理の実践を通して考える

島岡 政基

セコム株式会社 IS研究所 デジタルプラットフォームディビジョン 主幹研究員

セコム株式会社 IS研究所 デジタルプラットフォームディビジョン 主幹研究員1998年慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年セコム(株)入社。2004年同IS研究所。2005~10年国立情報学研究所特任准教授(後に客員准教授)，2019年筑波大学システム情報系客員准教授，2020年より同システム情報工学研究群准教授(協働大学院)を兼務。2022~24年経済産業省商務情報政策局情報経済課(出向)。博士(情報学)。認証基盤とトラストの研究開発に従事。本会SPT研究会主査(2023~)。その他CSEC研究会幹事，論文誌ジャーナル/JIPネットワークグループ編集委員・主査，同各種特集号編集委員などを歴任。ACNS2021&2023 Poster Chair。